

PICK UP 調達

ADEKAグループは、世界中のお取引先様から原材料を調達しています。世界が抱えている社会問題に対し、当社を取り巻くサプライチェーン全体で取り組み、お取引先様とともに持続可能な社会の構築に向けて貢献していきます。

CSR調達の推進

2020年7月に、「ADEKA購買基本方針」と「ADEKA購買ガイドライン」を制定しました。

社内への浸透を深めるため、社内掲示板サイトへの掲載をはじめ、当方針・ガイドラインの趣旨を説明し、周知を図っています。

一方、お取引先様へは、当ガイドラインに対する同意確認書の提出をお願いしており、2021年3月末時点でお取引先様226社(購入金額比率は75%)から同意をいただきました。引き続き、当方針・ガイドラインへのお取引先様のご理解をいただきながら、持続可能な調達活動に取り組んでいきます。

また、事業継続計画(BCP)の一環として、主要原料の複数購買化、サプライチェーンの見直しを順次進め、リスクに強いサプライチェーンの構築に努めています。

ADEKA購買基本方針

1. わたくしたちは、公正・公平な取引機会を広くお取引先に提供します。お取引にあたっては、品質・価格・供給安定性はもとより、技術開発・環境・安全に対する取り組みを総合的に判断するとともに、市場・環境の変化に鋭敏に対応し、相互発展する関係を構築していきます。
2. わたくしたちは、関係する法令・規則を遵守し、社会規範や企業倫理に反しない調達活動を行います。調達においては、地球環境への配慮や社会における権利を尊重する取り組みを通じ、持続的に発展可能な社会の実現に寄与していくとともに、企業としての社会的責任を果たしていきます。

ADEKA購買ガイドライン

わたくしたちは、お取引先に「ADEKA購買基本方針」をより深くご理解いただくために「ADEKA購買ガイドライン」を策定しました。購買活動においても、社会からCSR(企業の社会的責任)に対する積極的な取り組みが求められるようになっていきます。CSRの推進にはお取引先の協力も不可欠であり、お取引先とともにADEKAの取り組みを進めて参りたいと考えております。お取引先におかれましても、本ガイドラインの趣旨に沿った活動を実践していただくとともに、皆様のお取引先に対しても同様の趣旨を展開していただきたいと存じます。

1. 公正・公平な取引
2. お取引先との相互発展
3. 企業倫理・コンプライアンス
4. 持続可能な社会への貢献
5. 人権の尊重及び適正な労働環境の確保

持続可能なパーム油調達

パーム油は、食品(食用油、マーガリンなど)や化学製品(石鹸や洗剤、化粧品など)など様々な製品に使われています。生産効率が良く、他の油脂に比べて価格が割安であることから、急速に需要が伸び、大規模なアブラヤシ農園開発が進められてきました。その際、熱帯雨林の伐採や焼失による環境破壊、農園での劣悪な労働環境や人権侵害などが問題視されてきました。

当社グループでは、2017年7月に持続可能なパーム油の生産と利用を促進する非営利組織RSPO(持続可能なパーム油のための円卓会議)の正会員に加盟、2018年4月にサプライチェーン認証を取得し、10月より食品事業において

認証製品の製造・販売を開始しました。2019年4月にADEKA FOODS (ASIA) SDN. BHD.、2020年4月にADEKA (SINGAPORE) PTE. LTD. と認証拠点を拡大しました。また化粧品事業においても認証製品を供給するべく、2020年6月に千葉工場も認証を取得しています。

今後もサプライチェーンで持続可能なパームの調達に向けて、パーム農園、搾油工場への調査・監査等、トレーサビリティの観点からさらなる取り組みを進めていきます。



紛争鉱物への対応

社会との共存共栄を目指すADEKAでは、人権などに影響を及ぼす紛争鉱物を含有する原料は購入しません。含有の有無に関しては、調達先と原料個別の規格保証書を締結する際に、「環境負荷物質調査・回答書」に回答していただくことで実態把握に努めています。



富安 治彦
代表取締役兼専務執行役員

PICK UP 物流

ADEKAグループは、企業の社会的責任を認識し、ADEKA物流株式会社をはじめとする物流協力会社と連携し、コンプライアンスの徹底、環境への配慮、安全・安心への取り組みを進め、持続可能な物流の実現に向けて努めています。

「ホワイト物流」推進運動^{※1}への参画

2020年9月「ホワイト物流」推進に向けて自主行動宣言を外部公表しました。運転者の負担軽減や効率化を進め、ADEKA製品の安定輸送を継続することを目的に、以下の自主行動を宣言しました。

1. 物流の改善提案と協力

お取引先や物流事業者から、物流作業の合理化等の改善について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。

2. パレット等の活用

パレット等を活用し、荷役作業の時間短縮や負担軽減を図ります。

3. 船舶や鉄道へのモーダルシフト^{※2}

長距離輸送について、トラックから、フェリー、RORO船^{※3}や鉄道の利用への転換を継続して進めます。

4. 運送契約の書面化の推進

運送契約の書面化をさらに推進します。

5. 契約の相手方を選定する際の法令遵守状況の考慮

契約する物流業者を選定する際は、関係法令の遵守状況を考慮します。

6. 異常気象時等の運行の中止・中断等

台風、豪雨、豪雪等の異常気象時やその発生が見込まれるときには、物流業者と運行の中止・中断等の協議を行い、運転者の安全を確保します。

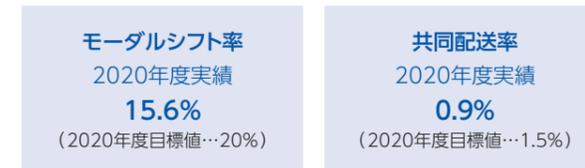
7. 共同配送の推進

他社との共同配送を推進し、積載率向上や車両台数削減等物流効率化を図ります。

※1「ホワイト物流」推進運動：生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長に役立つことを目的に、①トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化 ②女性や60代の運転者等も働きやすい、より「ホワイト」な労働環境の実現に取り組む運動。(引用、出典：「ホワイト物流」推進運動HP) ※2 モーダルシフト：貨物輸送をトラック等から環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換すること。 ※3 RORO船：Roll-on Roll-off shipの略称。貨物を積んだトラックやトレーラーが自走で乗降でき、そのまま運べる船。

物流に関わる環境負荷低減への取り組み

ADEKAは、物流における環境への配慮とコスト競争力強化の両立を目指し、モーダルシフトや他社との共同配送を推進してきました。



モーダルシフト率は、2020年度までに20%とする目標を設定し、積極的に船舶や鉄道への輸送切り替えを推進してきました。2020年度実績は、新型コロナウイルスの影響のため、船舶・鉄道コンテナの輸送量が減少し、15.6%となりました。

また、共同配送率は、2020年度までに1.5%とする目標を設定し、複数の企業と協議・連携しながら取り組んできました。2020年度実績は、新たなパートナーの探索など営業活動を強化したものの、0.9%となりました。

物流における品質・安全への取り組み

物流協力会社向けに、安全会議を年1回開催しています。この安全会議では、事故・クレーム等のトラブル事例報告の横展開や専門家による講演会を実施し、安全意識の共有化を図っています。2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の防止を目的に、安全会議の開催を見送り書面の配布により共有化を図りました。

また、物流協力会社に対し、ADEKA物流を通じて、定期的なヒアリングや各種監査を組み合わせ、物流品質の向上へと繋げる取り組みを行っています。

サステナブルに配慮した調達・物流活動

当社グループの事業規模拡大に合わせ、グローバルで最適な原材料調達を実現するべく、各海外拠点との連携を深化させ、グローバル視点での調達最適化を追求しています。

昨今の社会環境の変化により、再生エネルギー・バイオケミカル

原料等の持続可能な調達・物流活動を通じたCSRの推進が求められています。コスト競争力の向上とステークホルダーとのシナジー効果・サプライチェーンの強靱化によって、原材料の安定調達・物流確保等に万全を期してまいります。